

スポーツ歯科のすべてが
この1冊でわかります

スポーツ歯科 臨床マニュアル

編集 日本スポーツ歯科医学会 (JASD)

- スポーツ歯科の初歩から現場の必須知識までを網羅。
- スポーツ医学・歯学のエキスパートが執筆した臨床指針兼、認定医のテキスト。



スポーツ歯科

編集 日本スポーツ歯科医学会
Japanese Academy of Sports Dentistry : JASD

臨床マニュアル

編集責任 大山喬史 河野一郎 安井利一



医学情報社

B5判 264頁
6,800円+税

■編集責任者

大山喬史 (東京医科歯科大学副学長/JASD前理事長)
河野一郎 (筑波大学教授/JOC理事)
安井利一 (明海大学教授/JASD理事長)

■編集・執筆者 (担当順)

杉山義祥 (横須賀市開業)、片山 直 (明海大学教授)、木本一成 (神奈川歯科大学講師)、松本 勝 (明海大学准教授)、額賀康之 (函館市開業)、本田武司 (福岡歯科大学学長)、宇治寿康 (熊本市開業)、前田憲昭 (大阪市開業)、松田成俊 (神戸市開業)、前田芳信 (大阪大学教授)、竹内正敏 (京都市開業)、武田友孝 (東京歯科大学准教授)、月村直樹 (日本大学准教授)、田村康夫 (朝日大学教授)、林 良宣 (豊橋市開業)、根来武史 (名古屋市開業)、後藤滋巳 (愛知学院大学教授)、石島 勉 (北海道医療大学教授)、上野俊明 (東京医科歯科大学准教授)、片山幸太郎 (陸上自衛隊)、佐々木良紀 (海上自衛隊)、山内六男 (朝日大学教授)、平場勝成 (愛知学院大学教授)、川原 貴 (国立スポーツ科学センター統括研究部長)、坂本静男 (早稲田大学教授)、赤間高雄 (早稲田大学教授)、奥脇 透 (国立スポーツ科学センター研究部副主任)、片山容一 (日本大学教授)、目崎 登 (帝京平成大学教授)、枝川 宏 (東京都眼科開業)、枝松秀雄 (東邦大学教授)、上田由紀子 (浦安市皮膚科開業)、田口素子 (日本女子体育大学講師)、遠藤俊郎 (山梨大学教授)、竹村雅裕 (筑波大学大学院講師)

注文書

●スポーツ歯科臨床マニュアル _____ 冊

● _____ 冊

ご氏名 (医院名) _____

ご住所 _____ TEL () _____

●お取扱いは

●発行

医学情報社 〒113-0033 東京都文京区本郷1-4-6
TEL 03-5684-6811 FAX 03-5684-6812

スポーツ歯科の需要が拡大しつつあります。

高校ラグビーでのマウスガード義務化以来、注目のスポーツ歯科です。

今後、ジュニア、大学・社会人ラグビーでの義務化または推奨が予想されています。

また、その他のスポーツでも歯科のサポートがふえつつあり、
歯科大学・歯学部での教育にも入り始めました。

口腔の健康管理とともに、口腔機能と全身の運動機能の関係も理解しておきたいものです。

〈スポーツ歯科臨床マニュアル 目次〉

第1章 スポーツ歯科医学概論

1. スポーツ歯科医学の歴史
2. スポーツ歯科医学の概念
3. スポーツ・健康づくりへの歯科領域での取り組み

第2章 スポーツ選手の口腔健康管理とデンタルチェック

1. スポーツ選手の口腔健康管理の意義
2. デンタルチェック
3. スポーツ選手のためのデンタルチェックのポイント

第3章 歯科領域のスポーツ外傷

1. スポーツ外傷とは
2. 歯科領域のスポーツ外傷の診断・治療
3. 歯科領域のスポーツ外傷の予防と安全対策
4. スポーツ現場での基本的応急処置
5. スポーツに関連する感染症と対応

第4章 マウスガードの製作・調製法

1. マウスガードとは
2. マウスガード用材料および器具
3. マウスガードの製作・調製法の要点
4. ジュニア選手のためのマウスガード
5. 矯正治療中のスポーツ選手のためのマウスガード

第5章 歯科領域のスポーツ障害

1. スポーツ障害とは
2. 歯科領域のスポーツ障害
3. 歯科領域のスポーツ障害の予防と安全対策

第6章 口腔と全身運動の生理

1. 神経・筋機能と平衡機能の生理
2. 咬合と骨格筋機能の相関
3. 咬合と身体平衡機能の相関

第7章 スポーツ医学概論(1)——内科編

1. スポーツによる内科領域の障害
2. 内科疾患に対する運動療法とリハビリテーション
3. スポーツ選手の内科領域の健康管理とメディカルチェック

第8章 スポーツ医学概論(2)——整形外科編

1. スポーツ選手に多い整形外科領域の疾患
2. 整形外科疾患に対する運動療法とリハビリテーション
3. スポーツ選手の整形外科領域の健康管理とメディカルチェック

第9章 スポーツ医学概論(3)——関連領域編

1. 脳神経外科
2. 婦人科
3. 眼科
4. 耳鼻科
5. 皮膚科
6. スポーツ栄養
7. スポーツ心理
8. アスレティック・トレーニング&リハビリテーション

第10章 ドーピング防止

1. ドーピングの歴史(使用薬物の変遷)
2. ドーピング防止活動と検査法
3. 禁止薬物と使用可能薬物
4. スポーツ歯科医学とドーピング防止

既刊好評図書

スポーツ歯学の臨床

(編集：大山喬史、石上恵一、石島勉、谷口尚)
スポーツ歯科の科学と
実践のための本邦初の専門書。

B5判 10,000円＋税



スポーツ マウスガード ハンドブック

(編集：大山喬史、上野俊明)
症例による作り方の解説、
不具合の原因と対処法の記述が親切。

B5判 3,800円＋税



アドバンス・スポーツ歯学

(監訳：石上恵一、前田芳信)
チームデンティストのあり方、
現場へのアドバイスなど米国の指導書。

B5判 7,000円＋税



■普及・啓発用印刷物

●スポーツ歯科のご案内

(リーフレット:3つ折)
100枚1組 6,000円＋税

●We Love Sports

(ポスター:420×590mm) 3,000円＋税

